

乳幼児と保護者、妊産婦の防災 Part ③ ～非常時の心構えと心の準備～

今回のシリーズ防災は前回に引き続き妊産婦・乳幼児がいる家庭の備蓄品、特に生活用品についてお話ししたいと思います。

食生活に関する生活用品の備蓄



紙皿、紙コップ、箸、スプーンなど…紙コップやスプーンはほ乳瓶のない場合、授乳にも役立ちます。
食品用ラップ、アルミホイル、厚手のビニール袋（ジップロック）など…水が十分に使えない状況では、ラップやポリ袋を皿に敷く、お椀にかぶせる、手袋代わりに使う等衛生的に節水を。

キッチンばさみ…まな板が使えないときに

買い物用レジ袋・エコバック…乳幼児の小物整理袋やゴミ袋としてなど幅広い用途に使える。

携帯カセットコンロ・ガスボンベ…ガス、電気が止まったときに

その他の生活用品



紙おむつ、おしりふき、生理用品、ティッシュ、トイレトペーパー

非常用トイレパック…断水に備えて水なしで使えるものを

不透明なビニール袋・新聞紙…汚物など見られたくないゴミの処理

灯油・ガソリン・固形燃料…日頃使っている機器の燃料

懐中電灯、携帯ラジオ、予備の乾電池、マッチ、ライター、ろうそく

給水用タンク、バケツなど…生活用水確保のため

工具類（スコップ・バール、のこぎり、車用のジャッキなど）…扉が開かなくなるなどの事態に備えて

救急セット（消毒ガーゼ、ばんそうこう、はさみ、ピンセット、三角巾、体温計、常備薬）

肌着など着替え…断水に備えて多めに

乳幼児・妊産婦がいないご家庭でも準備してもらった備蓄品はほとんど変わりません。みなさんもご家庭での備蓄を見直してみましょう。

お風呂の残り湯を断水時のトイレ用などの生活用水としてためておく場合は、必ず幼児の溺水事故防止のための措置をとりましょう。（常にバスタブの蓋を閉め、浴室のドアに鍵をかけるなど幼児が近づけない環境を作る。）

～ 災害時 その判断が 分かれ道 ～



こんにちは 八百津町地域包括支援センターです

～ホッとできる場所「ホッとカフェ」～

地域のボランティアが中心となり、気軽に憩える場所「ホッとカフェ」が福祉センターゆうゆうで月に一回程度開催されています。家の外に出て、友人同士楽しく過ごす事ができる居場所作りを目的として立ち上げられた「ホッとカフェ」も3年目になり広がりを見せています。次回は1月23日（金）に開催を予定しています。美味しい珈琲を飲んでのんびり過ごす事ができますので、みなさん是非お越しください。



〈1月 お元気サロンの予定〉

・22日(木) お元気サロン八百津 午前9時30分～11時30分 ところ：福祉センター

〈1月 こころの相談の予定〉

・19日(月) 高齢者のための「こころの相談」（事前に予約が必要です）午後からのぞみの丘ホスピタルの精神保健福祉士が個別に対応し秘密は厳守します。

〈1月 体力脳力向上教室錦津の予定〉・受講生募集中（事前に予約が必要です）

・9日(金) 13日(火) 16日(金) 19日(月) 23日(金) 26日(月) 29日(木)



□お問い合わせ 八百津町地域包括支援センター ☎ 43-3267 または ☎ 43-2111（内線 2566・2567）